

■開設年度		■開講部局	
2013		共通教育	
■科目名			
生き方と道徳			
■英語科目名			
Way of life and moral			
■前後期	■開講区分	■科目形態	■単位数
前期	毎週	講義	2
■（25年度以降入学生）中分類		■（25年度以降入学生）小分類	
a. 実践・判断・精神力		2. 自己確立・他者理解を学ぶ	
■（24年度以前入学生）大分類		■（24年度以前入学生）中分類	
教養科目		人間教育科目	
■受講学部学科			
全			
■担当教員		■担当教員所属	
神田嘉延		稲盛アカデミー	
■連絡先（TEL）		■連絡先（MAIL）	
099-285-3755		k6820452@kadai.jp	
■オフィスアワー（授業時間外の対応）			
水曜日の10時30分から12時まで神田研究室			
■共同担当教員			
■メインキーワード		■サブキーワード	
■授業概要（目的・内容・方法）			
生き方と道徳を現代社会との関連や歴史社会的側面から友愛を基礎にして、内容論の講義をする。日本の歴史における道徳思想家を積極的にとりあげ、その現代的な思想的意義をモラル問題と生き方を関連させる。まずは、稲盛和夫の人間観や生き方から授業を出発させ、現代社会のモラル問題を直視させ、人間愛の大切を講義していく。鈴木正三等の日本的勤勉思想、伊藤仁斎の仁愛の精神、石田梅岩の商人教育論、安藤昌益の環境・労働観・平等思想等、二宮尊徳の自立論・地域振興、大原幽郭、渋沢栄一の経済倫理論、新渡戸稲造等の武士道・修養論。			
■学習目標			
生き方と徳育を人間力という視点から講義する。徳教育の内容論として、日本の伝統や歴史における生き方や道徳の思想を現代社会で、生きるということやモラルの課題を考えることを学修目標とする。日本の伝統思想を道徳教育から再評価し、日本の伝統的な文化や思想を学生とともに考えていく授業とする。生き方について、考える力をつける。			
■授業計画（15回に分け、回数、授業内容、自学自習等）			
1. 講義の意図、授業方法の確認 2. 稲盛和夫の人間観から一資本主義とモラルを考える（1） 稲盛和夫の利他精神 稲盛和夫の人間発達観 3. 稲盛和夫の人間観から一資本主義とモラルを考える（2） 稲盛和夫の社会的正義論 稲盛和夫の経営のモラル問題 4. 稲盛和夫の人間学と仏教思想 5. 愛の道徳論ーフロム、倉田百三などー 6. 愛の道徳論ー加川豊彦 7. 日本的ヒューマニズムを伊藤仁斎の童子門から考える 8. 新渡戸稲造の武士道、修養論からモラル問題をみつめる。 9. 薩摩の郷中教育の修養の掟と江戸期の武士道 10. 日本の勤勉の哲学としての鈴木正三 11. 市場のモラル問題を日本の江戸時代の商人道徳論の石田梅岩から考える 12. 農民的儒教として、安藤昌益のエコロジー思想・労働観を考える 13. 二宮尊徳の自立思想と地域振興 14. 日本的な協同思想としての大原幽学を考える、			

15. 渋沢栄一の論語と算術から公益思想を考える

■授業外学習(予習・復習)

■受講要件

なし

■成績の評価基準

授業の理解度と創造性 40%、小レポート（出席も兼ねる） 60%

■教科書

「生き方と道徳」 800円

■参考書

稲盛和夫「生き方」

■その他